

道路改良事業：国道428号（箕谷北） 再評価項目調書

事業名		道路改良事業： 国道428号（箕谷北）	事業主体	神戸市
事業箇所		神戸市北区山田町下谷上 ～山田町原野	事業所管課	建設局道路工務課
再評価の 実施理由		事業費及び事業期間の見直しに伴う再評価		
事業の 概要	事業延長	1.0km	補助名	地域連携道路事業費補助
	補助事業 採択年度	令和元年度	直近事業 再評価年度	令和6年度
	事業費 （採択）	48億円	事業費 （直近再評価）	59.8億円
	事業期間 （採択）	平成28年～令和7年度	事業期間 （直近再評価）	平成28年～令和10年度
	事業内容	国道428号の神戸市北区山田町下谷上～山田町原野の区間において道路が狭隘な箇所があり、本事業により約1kmの区間でバイパス整備を行うもの。また、整備区間の内約0.4kmは新たにトンネルを整備する。		
	整備の必要性	・国道428号は神戸市中央区多聞通から三木市吉川町（中国道吉川IC）に至る一般国道で、神戸市地域防災計画において緊急輸送道路に指定されている。 ・今回の事業区間は、道路が狭隘で大型車同士のすれ違いが困難であることや、過去に通行止めを伴う災害が再三にわたり発生しており、異常気象時の通行規制対象路線に指定されていることから、安全で円滑な交通を確保するためバイパス整備を行うものである。 ・本事業は神戸市基本計画の部門別計画である「みちづくり計画」において物流の効率化や、緊急時の代替機能の確保を図るため必要な主要事業に位置付けられている。 ・当該区間は神戸市内の市街地や港、空港などの拠点と三木市、三田市などの近隣市を結ぶ交通結節点付近にあるため、災害時における道路ネットワークとしても非常に重要な役割を担っている。		
再 評 価 内 容	事業費 （今回再評価）	63.8億円	増額金額 （今回再評価）	4.0億円
	事業期間 （今回再評価）	平成28年～令和12年度（バイパス部供用開始は令和11年度）		
費 用 便 益 分 析	貨幣換算した 便益：B	79.58億円	費用：C	59.05億円
	便益の内訳	交通事故減少便益：0.58億円 走行時間短縮便益：75.66億円 走行経費減少便益：3.34億円	費用の内訳	事業費：57.82億円 維持管理費：1.23億円
	B/C	1.35		
貨幣換算が困難 な効果による評価		①異常気象時や災害時における通行止めによる損失の回避 ②歩行者の安全性・安心感の向上 ③ドライバーの安全性・安心感の向上 ④CO2の排出削減		
対応方針		事業を継続する		
対応方針理由		事業の必要性・重要性・費用対効果から総合的に判断したため。		